OPEN CAMPUS2013

九州大学筑紫地区 入場無料
キャンパス開放

開催日時 5月11日(土)10時▸17時

開催場所 九州大学 筑紫キャンパス
大学院受験案内も同時開催

九州大学　博士課程教育リーディングプログラム
グリーンアジア国際戦略プログラム
Kyushu University　Program for Leading Graduate Schools
Advanced Graduate Program in Global Strategy for **Green Asia**

グリーンアジア国際戦略プログラムは、
九州大学大学院総合理工学府の学生を対象とした
博士課程前期・後期一貫型の新しい教育プログラムです。
グリーン化と経済成長を両立するアジアをグリーンアジアと称し、
それを実現に資する理工系リーダーの養成を目的としています。
※詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ

九州大学筑紫地区事務部庶務課
福岡県春日市春日公園6-1
TEL.092-583-7502
URL http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/

ACCESS

- 福岡(天神)から…西鉄大牟田線白木原駅下車、徒歩15分
- 博多駅から……JR鹿児島本線大野城駅下車、徒歩5分
- 九州自動車道から……太宰府インターから車で5分
- 福岡空港から……タクシーで約30分

九州大学　博士課程教育リーディングプログラム

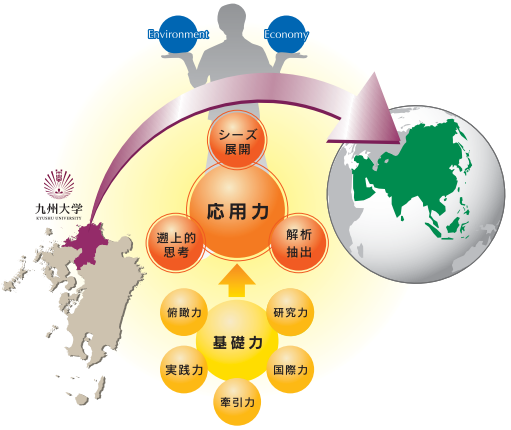
グリーンアジア国際戦略プログラム

本教育プログラムは、グリーン化と経済成長を両立したアジア（グリーンアジア）の実現に資する理工系リーダーの養成を目的とします。資源消費の飛躍的削減と経済成長との両立は、人類社会の課題です。そして、アジアは、文化・社会的な多様性を内包し、経済成長と環境問題との相互矛盾を抱えつつも、活力あるメルティングポット状態となって発展しつつある典型的なモデル地区としての意味を有しています。世界の国々が、化石資源大量消費に由来する環境・資源制約を回避しつつ持続的な経済発展を遂げるためには、資源消費量低減とGDP増大との両立という、人類が実現したことのない成長戦略が求められます。今世紀、貧富差の拡大、グローバル化が持つ負の側面の顕在化、アジア諸国のエネルギー消費の急増と化石資源の価格高騰の中で、我が国が貢献すべきは、欧米主導型と一線を画したグローバルモデルの提示によるグリーンアジアの実現にあります。

養成する人物像

グリーン化と経済成長を両立したグリーンアジアの実現に資する理工系リーダーを養成

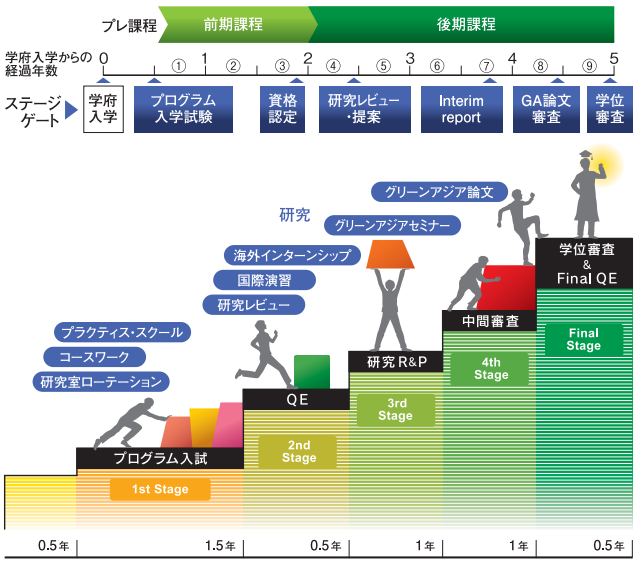
３つの学術分野『物質材料科学・システム工学・資源工学』のいずれかを専門とし、自身の専門＋他の２専門分野、および３分野の総体としての環境学、加えて社会学・経済学の基礎を複合的に修得、さらに国内外の実践経験を積み、理工系リーダーとなるに相応しい五つの力＝研究力・実践力・俯瞰力・国際力・牽引力を獲得し、かつアジア人材ネットワークを有する人材を養成します。



卒業までの流れ

本プログラムでは学位取得までに５段階のステージゲートを設定し、教育の達成度を質的に保証するシステムを導入しています。各ステージゲートで設定されている要件をパスすることで、次のステージに進むことが出来ます。

❶ 第０ステージゲート：本プログラムの入試
❷ 第１ステージゲート：QE（博士研究開始資格認定審査）
❸ 第２ステージゲート：研究レビュー・提案審査
❹ 第３ステージゲート：中間報告Interim Report審査
❺ 第４ステージゲート：グリーンアジア自由課題論文審査
❻ 第５ステージゲート：博士論文審査&Final QE



プログラムの特色

1 教育システムの蓄積と発展
広く国内外の他大学卒業生やアジア等からの留学生を受け入れ、学際的大学院教育を推進。大学院教育改革への積極的取組みが基盤。

2 綿密なカリキュラム
理工系の効果的カリキュラム要素（国際・企業インターンシップ、国際演習等）に加え、人文社会系要素（グリーンアジア論文等）で構築。

3 研究指導体制・進化型指導ケアユニットの導入
シニア教員をはじめ、海外メンターおよび技術メンターなど学年進行に応じて、学生１人に対して最大５人の教員・外部指導者が指導・支援。

4 アジア地域ネットワークと文理・産官学協同
30余のアジア圏教育研究機関との共同実績、国内58件の組織対応型連携（包括連携）実績を活用。グリーンアジア産業論の構築に向けた文理協働。

5 教育効果保証システム・外部評価をベースに据えたプログラム構成
遡上的思考能力、解析・抽出能力、シーズ展開能力を軸に据え、グリーンアジア実現を牽引する人材育成。

6 現有技術の付加価値志向のグリーンエンジニアリングへの深化
広く国内外の他大学卒業生やアジア等からの留学生を受け入れ、学際的大学院教育を推進。大学院教育改革への積極的取組みが基盤。

7 グリーンアジア国際リーダー教育センターの設置
本プログラムのサポートおよび教育・研究成果の国際社会及び地域社会への普及を目的とした教育センターを設置。